

令和8年度第1回茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会会議録

議題	<p>(1) 第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の進捗状況について</p> <p>(2) 茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画（第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画）の中間評価について</p>
日時	令和8年4月23日（木）14：00～15：15
場所	茅ヶ崎市保健所 第1会議室
出席者氏名	<p>志澤智子、竹中理恵、佐野初美、齋藤直樹、渡邊成仁、渡邊哲也、柴田佳世子、金國鍾、宮川茂夫、秋吉美穂子、北岡英子</p> <p>（欠席委員）</p> <p>前園トシ子、飯島直子、松井新吾、関義弘、鈴木薫</p> <p>（事務局）</p> <p>保健所副所長 榎本、健康増進課長 柳下、課長補佐 和田、課長補佐 門田、主査 松田、主査 奥村、主任 秋山、主事 浦山</p>
会議資料	<p>【事前送付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の進捗管理表（令和5年度～令和7年度） ・資料2 第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の中間評価報告書（案） ・資料3 補足説明 ・資料4 意見シート <p>【当日資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・座席表 ・事前意見シートまとめ

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会のスケジュール表 ・ 茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会規則 ・ 茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会委員名簿
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

○事務局（課長）

本日はお忙しいところ、茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

本委員会では、本市における食育推進計画、健康増進計画、歯及び口腔の健康づくり推進計画に関する諮問について審議していただきます。

委員会での皆様のご発言につきましては、所属団体を代表しての意見ではなく、委員個人のご意見としてご発言いただくこととなりますので、日頃から感じていることについて自由な発言をお願いいたします。

それでは、開会に先立ちまして、保健所副所長よりご挨拶申し上げます。

○事務局（副所長）

皆様こんにちは。

本日は、年度始めにお忙しいところ、またお足元の悪い中、令和8年度第1回食育健康づくり推進委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

保健所副所長の榎本でございます。

本委員会は、学識経験者の皆様をはじめ、市民委員の皆様、関係団体の皆様など、多様な視点を持つ方々に支えられております。

今年度も引き続き、皆様に本市の健康づくり施策についてご議論いただけることを大変心強く感じております。茅ヶ崎市では、茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の基本理念である「生涯にわたりみんなの笑顔が輝くまち」及び、基本目標である「平均寿命の延伸の増加分を上回る健康寿命の延伸をはかる」ことを目指して、様々な取組を進めております。

昨年度は、本日の議題の一つにもなっておりますが、計画の中間評価を行いました。

委員の皆様をはじめ、市民の方々にご協力いただいた中間評価アンケートの結果や、前期5年間の取組評価を、中間評価報告書案として取りまとめました。

これらをもとに、前期5年間を総括し、後期5年間に向けた課題や取組の方向性を明らかにしております。

委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜り、茅ヶ崎らしいあたたかみある健康づくりの推進に、お力添えをいただきますと幸いです。

本日の審議が実りあるものになることをお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（課長）

副所長、ありがとうございました。

それではこの後、委員会を開催し、委員長への諮問書のお渡しをした後、議事に入らせていただきたいと思っております。

【保健所副所長より委嘱状交付】

それではただいまより令和 8 年度第 1 回、茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会を開会いたします。
本日は、飯島委員、松井委員、関委員、鈴木委員、前園委員より欠席のご連絡をいただいておりますが、委員 16 名中、過半数を超える 11 名の委員にご出席をいただいておりますので、本日、茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会、規則第五条第 2 項の規定による会議の開催要件を満たしていることをご報告いたします。

続きまして、会議の傍聴についてご説明いたします。

本市では、行政運営における公正を確保し、効率化を図るとともに、市民参加を推進するため、本委員会の会議は原則公開で、傍聴ができることとなっております。

本日の傍聴について確認いたします。

傍聴者がいらっしゃいません。

続きまして本日の資料と議事録について、事務局よりご説明させていただきます。

○事務局（門田）

事務局より資料の確認及び議事録に関する説明をさせていただきます。

本日の資料の確認をいたします。

【机上配付資料、事前送付資料の確認】

続きまして、議事録について説明させていただきます。

本委員会は、会議録を作成いたします。

会議録には、各委員のお名前を掲載させていただきます。会議にご出席の全委員の方に確認していただき、会議から 45 日以内にホームページにて公開となります。

【AI 議事録の使い方を説明】

○事務局（課長）

続きまして、令和 8 年度に新たに委員になられた 1 名の方をご紹介します。

茅ヶ崎市小学校長会より、渡邊哲也委員です。

○渡邊哲也委員

よろしくお願ひします。

○事務局（課長）

どうぞよろしくお願ひいたします。

本来、市長から委嘱状をお渡しするところではございますが、本日は、市長に代わりまして、榎本保健所副所長よりお渡しさせていただきます。お席に伺いますので、その場でお受け取りください。

では副所長、よろしくお願ひします。

○事務局（副所長）

【委嘱状を渡邊委員へ】

よろしくお願ひします。

○事務局（課長）

それでは、議題に先立ちまして、榎本副所長より、北岡委員長に、市長からの諮問書をお渡しいたします。

【諮問書を委員長へ】

それではここからは議事の進行を委員長にお願ひいたします。

○北岡委員長

改めまして、委員長を務めさせていただきます北岡でございます。

ただいま代表として、市長からの諮問を受け取りました。

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の進捗管理及び中間評価のことについて、いろいろ活発なご意見をいただきながらまとめていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、時間も限られておりますので議題に入っていきたいと思っております。

お手元の次策をご覧くださいますと、本日の議題が二つございます。

まず議題(1)の「第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の進捗状況について」です。令和7年度の事業報告とそれから評価について、事務局からご説明をお願いします。

○事務局(門田)

議題(1)についてご説明いたします。

お手元に「資料1 第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の進捗管理表(令和5年度～令和7年度)」及び「事前意見シートまとめ」をご用意ください。

資料1に記載の各事業の評価、課題及び翌年度へ向けた改善点は、事業担当課が記載したものになります。

評価につきましては主観的な評価にならないよう、複数人で実施することを依頼しています。

資料1の令和7年度事業評価結果一覧は、各事業の評価を踏まえ、事務局でまとめたものとなっております。

簡単に令和7年度事業の進捗管理表についてご説明させていただきます。

資料1の評価結果一覧をご覧ください。

第3次茅ヶ崎市食育推進計画につきましては施策1から3までございます。どの施策につきましても高い評価点となっております。

まず施策1、食の生産、流通、安全への理解では、知識の普及啓発だけでなく、栽培から収穫まで体験など幅広く実施しております。

施策2、食文化の体験と継承、共食の推進については、各公民館や青少年会館、小学校においても体験活動が行われ、日本の伝統文化や海外の食文化を学ぶ機会も継続して実施されました。

施策3、生きる力としての食生活の基礎づくりでは、講座や料理教室の実施、全中学校で給食提供が開始になるなど、食育を推進する環境が整ってきています。

次に第2次茅ヶ崎市健康増進計画につきましては、施策1から2までございます。

まず施策1、一次予防、生活習慣の改善、心身機能の維持向上については、ライフステージに応じた健康づくりの推進や、多様な相談に対応できる体制の充実を図りました。健康イベントは、概ね高い評価となっております。

施策2、二次予防、生活習慣病の早期発見早期治療と重症化予防対策の推進につきましては、乳幼児から高齢者までの健診などが主な事業となり、そのほかにかかりつけ医の推進等も行っております。

次に、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画につきましては施策1から2までございます。

施策1、一次予防、生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進については、講座やイベントの開催、保育施設等での口腔衛生活動、様々な媒体を使った普及啓発を実施しており、どの事業も高い評価となっております。

施策2、二次予防、歯科口腔保健対策の推進については、様々な方を対象とした検診等が主な事業となり、歯科疾患の早期発見早期治療に取り組んでいます。

これらの進捗管理表から実績評価をまとめたものが、評価結果一覧となります。

事前意見シートまとめは資料1をもとに、皆様からご提出いただきました意見シートに基づいて

各取組別に記載したものとなります。

こちらをもとに委員の皆様からご意見をいただけたらと思います。

また、事務局からの審議議題といたしまして、仕事や育児介護等を担うことが多いと思われる20歳代から50歳代の方が参加できるようにする方法などにつきましても、ご協議いただけたらと思います。

説明は以上でございます。

○北岡委員長

ありがとうございました。

すでに皆様お手元に届いている資料をお目通しいただき、ご意見も出していただいておりますが、この場で、感想やご意見を出していただければと思います。

まず、本日配布されている事前意見シートまとめをご覧ください。

竹中委員、いつもありがとうございます。ここに関して、少しお話いただければと思いますがいかがでしょうか。

○竹中委員

はい。全体に関しては工夫を凝らして推進できているなということで少し安心をしています。

細かく見ていくと、各公民館で行われている取組に関して、場所によって実施の量が多かったり少なかったり、ばらつきがあるところが気になりました。

特に、講師の都合によって実施ができなくなっているコメントを見た時に、茅ヶ崎市の中で講師の方をいろいろな公民館で活躍していただけるようにサポートができたらいいのではないかと感じました。

○北岡委員長

ありがとうございました。

他の委員の皆様いかがでしょうか。竹中委員のご意見に合わせてでも結構ですし、改めてご覧になっていただいて、こういう疑問があるとか、ここはどうなのだろうとか、あるいは本当に感想でもよろしいのかなと思います。いかがでしょうか。

竹中委員がご提示くださった講師の方の都合で変わってしまうことや、あるいは公民館の場所によって実施の状況が違うことに関して、こうだったらいいと思うことはありますか。それぞれの委員の皆さん方がご所属の範囲で、いいアイデアがありましたらぜひ出していただけると、次の計画に足していけるとと思いますが、いかがですか。

皆様方からご意見いただけるとありがたいなと思いますが、いかがですか。

佐野委員、いかがですかね。

もし、いろいろな活動のところで関われるところですか、別のご意見でも結構ですがいかがでしょうか。

○佐野委員

はい。公民館や、市内様々な施設で、たくさん事業されているのだなと改めて感じました。

ですが1個だけ、体験学習センターとはうみかぜテラスのことだと思いますが、そこが指定管理者になったために、令和6年、7年あたりから、記載なしとなっています。

この仕組みから外れたのだと思いますが、うみかぜテラスはタウンニュースが指定管理者になっていますので、以前よりたくさんイベントをしています。

この企画にあるタケノコ掘りはなくなったかもしれませんが、それ以外にたくさんイベントをしており、サポートセンターにもたくさんチラシが来ますので、そのような情報をうまくここに拾えないのはちょっともったいないなという気がしました。

○北岡委員長

貴重なご意見ありがとうございます。

今のご意見に関しては何か事務局で把握されていることはありますか。

○事務局（秋山）

うみかぜテラスで行っていることに関して、こちらで管理や、情報を入手してさらに発信はしていないのが状況です。

竹中委員からご意見のありました公民館で行う事業に差があるのではないかという点についてですが、まずこの進捗管理表に載せているものは、各公民館が主で行っているものが記載されています。

公民館には貸し館の機能があり、貸して行っているものは担当課のところに上がっていないものとして読んでいただければと思います。

その上で、公民館で行う事業は7つの区分がありまして、①子ども事業、②保護者向けの家庭教育支援事業、③シニア事業、④博物館連携事業、⑤地域課題解決等事業、⑥学習成果活用・学習情報提供事業、⑦次世代ネットワーク事業があります。

各公民館でこの区分に合わせて年間事業を計画しています。

内容を決める時は公民館ごとに、学校の先生や、自治会、利用者の懇談会などで構成された公民館運営審議会、また利用者の意見を聞きながら計画を策定していると聞いています。

5つの公民館同士が主催事業の内容を調整するということは基本的にありません。

公民館ごとで計画を立てているために、例えばですが、食育関係の事業や健康増進に関する事業がゼロになるということも実際はあります。

公民館での取組に差があるようにこの進捗管理表からは読み取れる場合がありますが、各公民館がこうした区分や、利用者のニーズに合わせて事業を計画的に実施していることをご理解いただければと思います。

また、講師都合による「実施なし」を減らすことができるといっていますが、ご説明した通り公民館ごとに事業を計画しているので、サポートをさらに他の課が行うことが難しいのが現状です。

しかし、講師の都合にも様々な背景があると思いますので、この進捗管理を作成するにあたり事務局でも聞き取りを行いたいと思っております。

○事務局（門田）

指定管理制度の関係で補足ですが、やはり私どもも指定管理制度になったから進捗管理表から外れてしまうのはいかがなものかと話し合っています。事業実施の有無に関わらず、指定管理制度になった場合は、指定管理制度導入のために記載対象外ということで整理しておりますが、私どもも実施しているのかについては気になっています。実は、ここには掲載しておりませんが実施の有無について、聞いて把握をしている状況です。

今後、指定管理制度になったところをこの表に入れるのかは、もう一度整理が必要だと思っております。

○北岡委員長

補足の説明をありがとうございます。

他の委員の皆様方も、今のご説明でまたさらにご質問はございますか。

これは私の意見になりますが、市が管轄していることとそうではないことは情報を共有していくのが確かに難しいと思います。計画で挙げた目標や数値的なところについても、目標に出したことの評価はできるものの、それ以上に地域の中ではたくさんいろいろなことを実は行っているというのが現状なのだと思います。

そのような意味で、計画の評価としては計画にあげたものがどうなのかを評価するのが一段階です。しかしそうは言っても市民の皆さんのための計画ですので、行政が作った計画をただやればい
いわけではなく、実際に地域の皆さんが活用できる資源がどれだけ地域の中であって、どうい
うものを利用しているのかを市としてはやはり把握しておいていただければいいと思います。

市の皆様はどうですかと問いかけて情報をもらうのがもし難しければ、やはり全体に皆様から報
告がもらえるような、これが変わったら連絡してくださいですか、こういうことをやるのであれ
ばこちらの窓口で連絡をしてくださいというような、ここにも民間の団体の代表の皆様方がいらっ
しゃるので、このような会議を通して皆様に伝えて、別途連絡をいただけるような窓口などの周知
をしていただけると、より共有しやすいのかなと思います。

ぜひそのようにしていただければなと思っています。

他によろしいでしょうか。

竹中委員のご意見からのお話でしたが、それ以外の部分でお気づきのことはございますか。

先ほどのご意見にも繋がりますが、全体の評価を見ていくとどれも良い評価になっています。

それは手前みそだというようなことも場合によっては言われる可能性もありますが、それでも一
つの指標に基づいての評価ですので、これも1個のきちっとした評価だと思います。

しかし、今のお話にも出てきましたが、中止になってしまうとどうしても点数下がっていきます。

講師の都合や様々な状況でやむを得なくて今回だけ中止なのか、それとも、このままずっと中止
になるのではないかと思われるような事業や計画もいくつかあります。今回の中間評価はこの後
のためのものなので、この後も中止と続いてしまうのか、計画をどう変更していくのかというこ
とに関して、事務局としてはどのようにお考えですか。

○事務局（門田）

中止と提出された際に、なぜ中止なのかとの聞き取りをしております。ただどうしても、やっ
てくださるとは言いにくいところもありまして、こちらの気持ちを伝えるところまでしかできてい
ない状況です。

○北岡委員長

微妙なところだと思いますが、どうしてなのかどうするのかというよりも、事業の担当もいろ
いろ考えていると思うので、今後どうしたいと思いますか、というところを聞いてみるのは難し
いかな。

○事務局（門田）

今後どうしたいと思いますかという問いかけの仕方はしていません。こちらとしてはこうい
うのがあるといいと思っています、と希望をお伝えしているだけです。

○北岡委員長

先にこうした方がいいと言ってしまったりやはりプレッシャーになってしまうので、この状況につ
いて、これから来年に関してなど、次はどうされるご予定ですかとまず聞いてみてください。

何も考えてないですか、どうしようかと思っていると言った場合はぜひ前向きにご検討くださ
いと投げ、それでも何か悩んでいるとしたら、例えば市としてはこんなことがあればいいと思
っています、のように段階的にアプローチをしていただければいいのかなと思います。1つの意見
ですが。

やりとりをされていることはとても大事だと思います。

ただ結果を聞いているというだけでなく、どうしてですかというところも繋がりの一つだと思
います。

私としては、そのための中間評価なので、もしこれを目標から外すのであれば外してもいいと思

っています。

もしこの先も難しいのであれば、その代わり何か新たなものをに入れていく、それが進捗管理であり中間評価だと思いますので、前のものをずっと10年も持つておく必要は全くないと思っています。

そこも、ぜひこういう委員会の中で結果を見ていただいて、中止が続いているのであれば新たなものにしたほうがいいのかとご意見をいただければいいと思っています。

○齋藤委員

今のいろいろなお話を伺ってですね、例えばこれは健康増進の施策1の中で出てきますが、30番の健康に関するイベントや教室の中で、3B体操教室のことが触れられています。

この3B体操教室というのは、令和5年に1回やっただけであとは記載なしとあります。例の指定管理者の制度による問題だということですが、北岡委員長のお話を聞いて、実態として市としてはこの計画が令和6年と令和7年はできなかったという理解でよろしいですね。

ですけれども、例えば、私たちが単位老人クラブとしては、毎月この去年一昨年から毎月1回必ず3B体操やり始めています。

市がこういうことをやりたいと実施の計画を立てて、それをいろいろな形で各機関が啓発されて、それがいいなと思って我々単位クラブが実際にそれを受けて、講師を呼んで毎月お金を払ってまでやっています。それは続いています。

計画に対して、指定管理者制度の問題で市としてはできなかったかもしれないですが、実際にそれを受けて我々がまたやっているというところが見えてこない。さっき委員長がおっしゃったこともあると思いますが、そこら辺がもっとはっきりと市民はこうやって動いているというところがわかるといいなと思いました。

それとあと一つは、思ったことを言って欲しいというお話でしたから、この資料ですがすごく見にくい。これやっぱりいろいろなものを理解する時に、プレゼン上はできるだけもうちょっと見やすいようにして、あんまり詳しいのがいいとも限らない。

そこら辺のところを工夫していただくといいかなと。これ作る方も大変だろうと思います。勝手なこと言ってすみません。

○北岡委員長

忌憚のないご意見をお願いしますと言ったので。

最初の方のことにしましてはいかがですか、事務局は。

○事務局（門田）

市として実施していないものの地域や民間の方でやっているところを把握できたらとても良いと思います。ただ把握方法について、こちらでもまだ検討ができていない状況です。

やっていることを拾って、この計画に載せるかどうかとは別としても、どんなことを実施しているのかはせつくなので把握したいなど、私は思います。

○北岡委員長

はい、ありがとうございます。

これは、体験学習センターの担当課がやってないという話ですよ。

今は把握してないけれど、実際はこうやって地域でやっているということがあるので、事業は担当課が直接やらなくてもいいわけですよ。どこかがやってくださっていて、それがちゃんとやっているということを市として把握できていけばいいので。

委員の皆様からここで忌憚のないご意見を出していただくことが、市としての取組ですとか、皆さん方にとって良いことが還元できていきます。ですので、ぜひいろいろなご意見をいただければと思います。

進捗管理表は見えにくくてなかなか難しいですが、このローデータと言っ、全部の情報を集めておくということは、一つはどうしても必要です。

だから大変なのですがこれはやはり必要で、あとはそれを踏まえて、説明や何かのために見やすい簡単なまとめのようなものにするかというのが次の段階なのかなと思います。

○事務局（副所長）

先ほどの、いわゆる今のこの計画の特に何をやるという具体的な事業については、行政の行う事業だけを載せています。

私は、他の自治体のこのような計画の委員に入っていたこともありましたが、そこでは、このようなものと別に関連団体がこんなことをやっていますという情報を集めているケースを見受けることがあります。そういったことも少し考えていきたいと思います。

今のこの30年度までの計画についてはこのような作りになっていますが、今後次の計画を作る時に、例えば「市の施策を支える施策」のような形で、いわゆる行政以外の方々がやっているようなことを、どこまでできるかわかりませんのでここでお約束はできないのですが、このような取組はしっかり地域に根づいていくのは大事だと考えますので、工夫してやっていきたいと思っております。

○渡邊哲也委員

今の話をずっと聞いていて、市役所が考えたものの計画、それを実施した後の結果がどうであったかということを確認することが、中間評価の確認だと思います。

市民に普及啓発するのが大前提としての目的であれば、先ほど、それに触発されて市民団体がやり始めたのは、この計画が「当たり」だったという証拠になるのではないかと思うので、備考欄に「そのような活動も増えた」のように、この計画の意義があったと記録に残すのは非常に良いのではないかと思います。

逆に、民間の方がたくさんやってくれるようになったとしたら、市としても万々歳ということだと思いますので、そのような書きぶりもありかなと思いました。

○北岡委員長

貴重なご意見ありがとうございます。

他の事業のことにしても、つけ足していただければと思います。

先ほど事務局からも一つ課題として、20代や30代の方々に参加してもらえないですとか、意見が出てこないですとかの対策は何かありませんかと皆様への問いかけがありましたが、そのことはいかがでしょうか。アイデアとかございますか。

志澤委員いかがですか。

○志澤委員

いろいろ資料見させていただいて、やはり開催の日時が平日の日中といった開催時間では来られる層が決まってしまうのではないかと思います。

日中お仕事されているような層を、参加して欲しいというのであれば、日時を考えないといけないのではないのでしょうか。

もう少し、夜に開催するようなイベントなどがあると参加が増えるのではないかと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。

理想的にはいろいろありますが、実際、主催する側とすると、そのようにうまく行くといいので

すが。

いろいろな情報を伝える時は、学校だとお子さんを通じて親御さんに連絡を共有できるということはありませんか。

○柴田委員

正直子どもたちが、自分たちで参加したいというものを学校で周知するのは良いのかなと思います。子どもを通じて親に伝えて、親の意識や啓蒙をしていくのはなかなか難しいです。

子どもたちに向けてということでしたら、自分も参加してみようかなとか、自分はこう思ったとかはあると思います。子どもを通じて保護者には、難しいかなと思います。

○北岡委員長

親子での参加でしたら、まだ良いということですか。

○柴田委員

中学生だとなかなか難しいですね。

保護者がいらしていただく機会が学校もありますので、そのような場面で保護者に見ていただいて目に触れるのは、それはそれだと思いますが、子どもを介してとなるとなかなか難しいと思います。

中学生になると、自分たちの生活と親の生活をだんだん離して自立していく時期でもあるので、親と一緒にというのは発達段階的にも難しいと思います。

○渡邊哲也委員

今は親世代の人たちが、子どもの教育の部分でも結構来ない方が多いです。小学校低学年は懇談会等も来ますが、中学年、高学年になると仕事が忙しいからですとか、いわゆる学級懇談会の参加率も大分減ってしまうことが起こり得る学校が増えています。

学校教育の問題も共有がしにくい状況で、学校側も苦慮している部分があります。先ほどお話にあったように、小学校の場合はまだ「親子」というのがキーワードとしては使えるので、親子で参加できるイベントがありますよ、と投げかけるのは参加率が高まると予想が立てられるかなとは思っています。

○北岡委員長

ありがとうございます。保育園はいかがですか。

○渡邊成仁委員

渡邊校長先生がおっしゃったように、親子でと言えば当園でも、親子のイベントを掲示板に貼るとまず子どもが食いつきます。子どもが、例えば一緒にお菓子を作るとか、一緒に消防車見に行くとか、そういったイベントに関して子どもが行きたいと、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんに伝えている姿はよく見ます。

それに対して、そうだねと言ってくれる親御さんもいらっしゃいますが、先ほどお話にあったように、皆さん、お仕事でお忙しいの也有ります。

また、保育園のうちから習い事をしているご家庭も多く、土曜日は習い事だから行けないとか、以前でしたらお休みの日だから行けるというお話もあったのですが、それこそ今の小学生はたくさん習い事をしていらっしゃると思います。保育園のお子さんでも結構習い事を、土曜日、日曜日にされているお子さんもいて、子どもも忙しいという現実があります。

そうは言っても親子でやるのは、お子さんはとても興味を持つので良い取組だと思います。

○北岡委員長

ありがとうございました。

これからは周知しやすい形の対象とか、興味を持ってもらえるようなタイトルのつけ方や内容も一つの工夫なのかもしれないですね。

金委員、受診してくる方にPRのような何かありますか。

○金委員

私は内科を標榜しております、受診される方の平均年齢が高いです。なかなかお子さんというと、お孫さん世代はいらっしゃると思いますが。おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に行くのは難しいかなと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。

宮川委員何かありませんか。このぐらゐの世代にPRしたいといったことは。

○宮川委員

私は食品衛生協会ですが、やはり今のお話を聞いていまして、子どもがイベントに参加しないと親御さんが参加しないというのがあります。

何年か前の話ですが、松浪小学校で魚のおろし体験をやったことがあります。

子どもにやってもらったのですが、付き添いの親御さんがかなり多かったです。

その後に食事を、その時はアジを団子にして食べました。我々飲食店が集まったので、指導者がみんなプロで、学校側にも協力してもらい、包丁もきちっと研いだものを使ってやりました。

このところはそういった話がありませんが、そういう話があれば、学校へ伺います。

また、今ノロウイルスがかなり流行っています。二次感染、三次感染が増えております。以前は、手洗い指導というのを、小学校や中学校でやっておりましたが、コロナ禍以降なくなりました。

手洗チェックというクリームを塗って洗い残しの色を見るというものがあります。市にもありますが、食品衛生協会のものを保健所に3台置いてあるので、もう一度手の洗い方とか、そこから入るのもいいのではないかと思います。

家庭でとにかくノロウイルスが出ています。私の意見はそのような感じです。

○北岡委員長

貴重なご意見もありがとうございました。

食には皆様が関心持っていて、そういった入口から始まって、お子さんだけではなく親にも関わっていくイベントも大事かなと思います。

ありがとうございました。

議題(1)は、ここで終えさせていただいて、もう一つ議題が残っておりますので進めていきたいと思ひます。

次第を見ていただき、議題(2)が茅ヶ崎みんなの食と元氣と歯っぴい計画の中間評価です。

事務局からご説明をお願いいたします。

○門田課長補佐

議題(2)についてご説明いたします。

お手元に資料2、茅ヶ崎みんなの食と元氣と歯っぴい計画の中間評価報告書案、及び事前意見シートまとめをご用意ください。

こちらの資料2、茅ヶ崎みんなの食と元氣と歯っぴい計画の中間評価報告書案は、令和元年度か

らの進捗管理表、及び令和7年度に実施した中間評価アンケートの結果をまとめた中間評価報告書案となります。

前期5年間の取組についての評価や、後期5年間の方向性を記載いたしました。

委員の皆様からご意見をいただき、こちらで最後に校正を行い、5月下旬から6月頃までに、市ホームページで公開したいと考えています。

中間評価書案の構成を簡単にご説明いたします。1ページ目の目次をご覧ください。

1 中間評価報告書の概要、2 進捗管理表からの評価、3 アンケート結果からの評価、4 は、2・3からの成果目標の達成状況についての記載です。5 に関しましては今後の計画の推進に関してとなっております。

事務局といたしまして、委員の皆様にお送りした後に資料の修正をしたほうがよいのではないかと考えた部分がありますのでそちらについてもご説明させていただきます。

5ページをご覧ください。

5ページ以降、グラフが記載計画ごとに記載されており、進捗管理表の事業数と、評価点の推移を表しています。

折れ線で表している評価点が見やすいように始まりの点を7点からとしておりますが、統計学上ゼロから始めた方が良いのではとの意見もいただいています。

そして次に、57ページ、4成果目標の評価をご確認ください。

表の中間評価時の値がアンケートから来ているのか、検診等の実績値なのか、一見してわかった方が見やすいと思い、アンケート結果からであることを表の横に印を付けるのはいかがかと考えています。

その他、中間評価報告書案についてご意見を伺えればと思います。

説明は以上でございます。

○北岡委員長

ありがとうございました。

今のご説明を加えていただきつつ事前に見ていただいたご意見シートの方では、竹中委員からご意見いただいておりますが、プラスして説明はございますか。

○竹中委員

ピンポイントに書いてしまいましたが、市民アンケートの結果はとてもよかったと思います。結果として1500人程度の回答が良いのか悪いのかは私には判断がつかないのですが、回答数を集めるのは難しいのだなと痛感しました。

アンケート結果の中で、朝食を毎日食べる頻度が15歳以上、要は中学校卒業後の高校生以降の食べる割合が低下していることがとても気にかかります。

先ほど、柴田校長のお話でもありましたが、親御さんが子どもの行事などにはなかなか参加できないぐらい忙しい。とはいえ、中学生まではぎりぎり食事をとらせているのかなという気がしたので、中学校卒業後、高校に上がってから自力で朝食を取るベースを中学校卒業までに何とか作っていかないといけないのかなと感じました。

学校行事にもなかなか参加されない親御さんがいるということですが、3者面談などには学校に来られるので、そこでせめて子どもの朝食や食の大事さを親に分かっていただいて、子どもが将来にわたって自分の健康を守るような、取組をしないといけないと感じました。

○北岡委員長

現実、それを改善していくのが難しい状況だと思います。

秋吉先生、何かありますか。食のことなどで。

○秋吉副委員長

文教大学の秋吉です。

高校から大学生はやはりライフステージで見ると一番健康教育が届きにくく、どうしても手薄になっているのが日本の問題だとわかっています。

特に男性もですが、女性の痩せと関連付けて考えると、ここでしっかり教育ができてないと20代30代で本当に仕事始めてから弊害が出てくるとわかってはいるものの、なかなか解決は難しいところがあります。

文教大学は健康栄養学部だけでなく、他学部もありますので、学生が卒業研究の一環で学部を超えて同じアンケート調査を取った年がありました。

印象深かったのは、当学部の学生も食べていないなという印象はあったにも関わらず、他学部と比べるとやはり意識は高い部分がありました。

食や食べることについて、小学校、中学校で食育はされて来てはいますが、それでも理解できていない、意識が低いという前提で、高校でもう少し保健の先生方などにもご協力いただいて、食べることと体のことの繋がりに力を入れて教育していただきたい、というよりも教育していかなければいけないと考えています。

その手だてをどうするかというところだと思いますが、親の意識が変わったとしても、おそらく、わかっている親に反発するのが高校生の思春期ですね。時間はかかるでしょうけどここが手薄だということを違う世代がより認識して、ここへの政策を考えていくことは必要だと思います。具体策が無くて申し訳ないです。

○北岡委員長

ありがとうございます。これは永遠の課題のような気もしますが。

中間評価ですので、今が出てきたような様々な課題を、どう次の計画に載せていくのかというのが問題ですね。

○事務局（門田）

今後どう進めていくかこちらも中間評価書に書いておりますので、もし、もっとこうした方が良いということがあれば教えていただいて、それが、後期5年間が終わって次の計画に目標としてあるいは施策として載せるというところに繋がっていきます。

○北岡委員長

食の問題も結構大きいですがそれ以外のところでも結果を見ていただいて、この結果をさらに良い方向にしていくために、明確に具体的なことでなくても良いので、抽象的なことであってもこのような取組があると良いのではないかとのご意見がありましたら、ぜひ出していただければと思います。

竹中委員にもおっしゃっていただきましたが、アンケートはどうしても限界があります。回答できる人が回答してくれるので、ある程度自信がある人、つまりモチベーションが高い人が書いてくれているというのもあります。

回答していない多くの人達はどうかというのを、例えば、また何年か後に最終評価の調査を行う際に回収率を良くしていくためにはどうしたら良いのかというようなところも、先々の検討事項だと思います。

結果を見ていると、問題はいろいろあっても全体的には皆様が「できるだけ健康な生活をしよう」と思ってやってらっしゃる、というのが私の印象です。細かいところを見てももちろん課題はありますが、ここに回答されていない方がどうかというのが一つ大きな課題にはなると思います。

ご説明がありましたように、グラフのところや、注釈を入れること、評価の数値をどうするかについては変えていただくのが一つですね。報告書としてこちらが公開されますので、それ以外に気

になるところがありましたらご意見をいただきたいと思います。

○渡邊成仁委員

素朴な疑問といたしますが、今回の評価のところ例えば、項目によって割合が減ったほうが良いものと、割合が高い方が良いものがありますよね。そこがもう少し見やすいと良いのかなと思いました。

○北岡委員長

ありがとうございます。事務局としては今のご意見に対して何かありますか。

○事務局（門田）

やはり自分たちでも評価をしていて、これは減った方が良いのか、増えた方がプラスとして評価されることだというのが少しわかりにくいと感じていました。矢印をパーセンテージ記号の横に書かせていただいて、上向きの矢印が良くなっている印としていましたが、こうした方が良いのではないかと思うことがありましたら教えていただけるとありがたいです。

○渡邊成仁委員

例えば達成率などがあれば、達成率は絶対に上がるだけですので、何%とは逆になってしましますが、それがあると少し違うとは思いました。

○北岡委員長

貴重なご意見ありがとうございます。

全部の数字を変えるのは難しいのかもしれませんが、まとめの概要だけでも渡邊委員がおっしゃっていただいたように達成率で見えるようにすると分かりやすいかもしれませんね。

ご検討いただければと思います。

○齋藤委員

58 ページの今後の方向性に共食に関する記述として、この文章に「60 歳以上には、地域活動や交流の機会を活用した取組を推進するなど」とありますが、具体的にどのようなことを想像したら良いですか。食事会などでしょうか。

60 歳以上になると我々、老人連合会はストレートに関係します。

例えば、孤立を防ぐためにできるだけお互いの繋がりや、関係を保つ機会を多くするということを言っているのでしょうか。その一つとして、食というのが入っているということによろしいですか。

○松田主査

ご質問いただきましてありがとうございます。

共食という部分では、一人暮らしの「1人で食べています」という方もいらっしゃるので、地域との交流の場を持って、1人で食べるのではなく人と繋がりながら食べるということですね。そこから食欲が出てくることや、いろいろな会話に繋がるので、そういった共食の機会を充実できれば良いと考えています。

具体的にこういうものとはお伝えできませんが、そのような取組ができると良いと思っています。

○齋藤委員

わかりました。

茅ヶ崎市老人連合会単位クラブは今 57 クラブありますが、茅ヶ崎市から年度の補助金というのが 3 万 6000 円出ています。

使途については、飲食は駄目という規制があるので食事会には使えません。

ですから、例えば老人会の中でイベントをやって、そこで食事をするような時に費用を一部負担できるような、こちらが孤食を防ぐためのいろんな手段を考えて欲しいと訴えても、また一方では補助金を使っては駄目となると、受ける側としては矛盾していると感じます。

そのところだけ、うまくやっていただけるといいなと思います。

○事務局（門田）

誰かと一緒に食べること、共食の大切さを伝えていくことはできると思っております。

共食を進めているのに、補助金は食事に使ってはいけないということで矛盾が生じているというお話ですが、補助金の使途変更の依頼は難しいです。申し訳ありません。

○北岡委員長

補助金については、保健所ではなく福祉部門の管轄ですよ。

行政は縦割りになっていて、こういう問題が出るということですね。部署間でこういったことを話題提供ですとか、問題が上がっていると言葉を伝えていただければと思います。

今は食に関しては自費で、どこかから補助をもらうというより自分たちで賄うもののだといった考え方が普通になってきていますので、自分たちで持ってきたものを一緒に食べたり、お茶をしたり、そのようなことで交流するのが現実的にはなると思います。

ただ一方で、一人暮らしの方の給食ですとか、食生活改善推進団体の事業とか、もしかしたら市ではなくても地域の NPO 団体など取組を行っているところはありませんでしたか。

○事務局（松田）

にんじんの会という地域活動を行っている栄養士の集まりがあります。

今現在この対象に対して行っていますということをお伝えはできないのですが、お子さんや年齢に応じた食育を行っているとは伺っています。

○北岡委員長

こども食堂など、子どもに限らず一人暮らしの方や高齢の方が集まって地域で食事ができる場所も、最初の問題になりますが、市が関わってなくても地域の中でやっている活動もあると思います。

ぜひ情報は共有しつつ把握をしていただいて、そういったところを活用することもありますよね。

ご指摘のあったところも、抽象的な文章で書いてありますが、例えば具体例を一つか二つか挙げてこういったことなど書いてもらえると、読んだ方は想像ができると思いますので入れていただければ良いと思います。よろしいですか、齋藤委員。

○齋藤委員

ありがとうございます。

○北岡委員長

議題（2）は、こちらで終了させていただきます。

今日諮問をいただきましたが、本日の内容の中間評価報告書（案）について少しご意見いただいて、修正したのをもう 1 回確認しますよね。

○事務局（門田）

公表する前に一度お送りします。

○北岡委員長

この段階である程度、補足等が入ることを前提の上でお認めいただくのでよろしいでしょうか。

それでは、その他に入っていきます。

事務局の方からよろしく願いいたします。

○事務局（門田）

事務局からその他として2点あります。

1点目として、議事録と答申についてです。

本日の審議会の会議録を事務局で作成後、本日ご出席の委員の皆様にお送りいたします。

期日までにご確認いただき、訂正の必要がある場合は事務局までご連絡ください。期日につきましては、会議録を送付させていただく際にお知らせいたします。

皆様にご確認いただいた後に、本市ホームページ等にて公開となります。

また議事録作成後に皆様からいただきましたご意見から答申案を作成し、ご確認いただいた後、市長へ報告することとなります。会議録同様、本市ホームページ等にて公開となります。

2点目です。

今後の委員会の予定ですが、「資料3 令和8年度茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会スケジュール表」をご確認ください。

今年度につきましては、8月に第2回の開催を予定しております。

6月末ごろから7月にかけて日程調整のご連絡や資料の送付をさせていただくかと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○北岡委員長

ありがとうございました。

今の事務局からのご連絡、何かご意見やご質問はございますか。

では、スケジュール表をもう一度ご確認いただき、このような進行でいきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

この委員会は、それぞれの所属にいらっしゃる代表の方が委員になって出てきていただき、市民の皆様のために少しでも実現可能な計画、進捗管理ができているということが非常に大事だと思います。

今までもそうですが、ぜひ今後とも忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

また、ここで話し合われたことや課題になっていることをぜひ、ご所属の団体の方に持ち帰り、話題にして検討していただき、やりとりができることが一番理想的と思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

それでは時間になりましたので本日の会議はこれにて終了いたします。

どうもお疲れ様でございました。ありがとうございました。